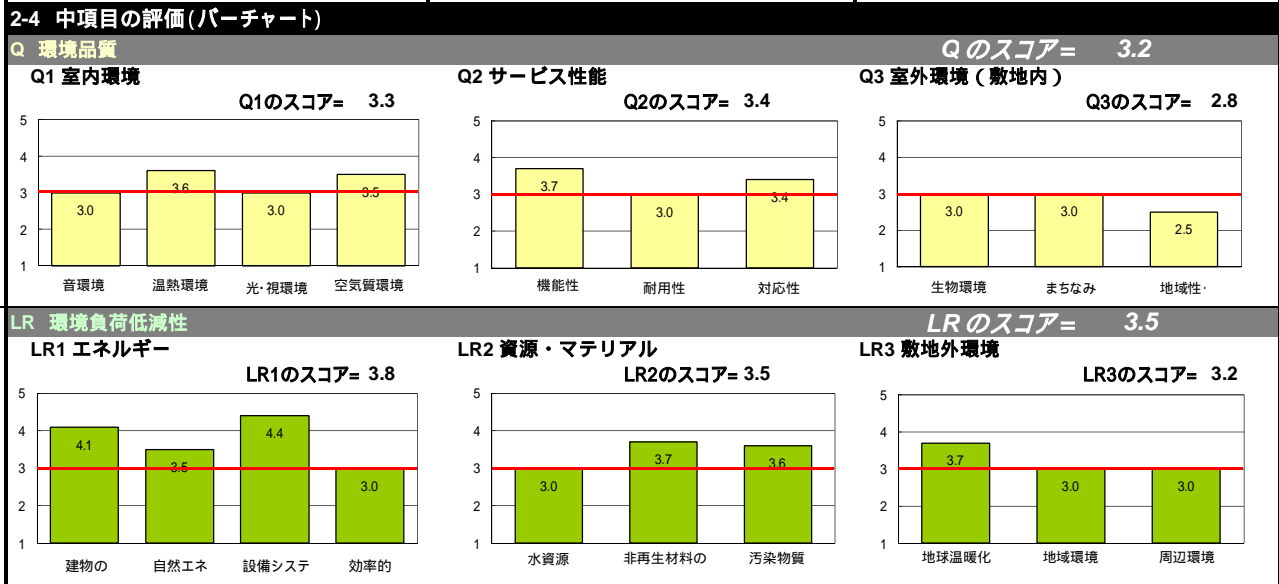
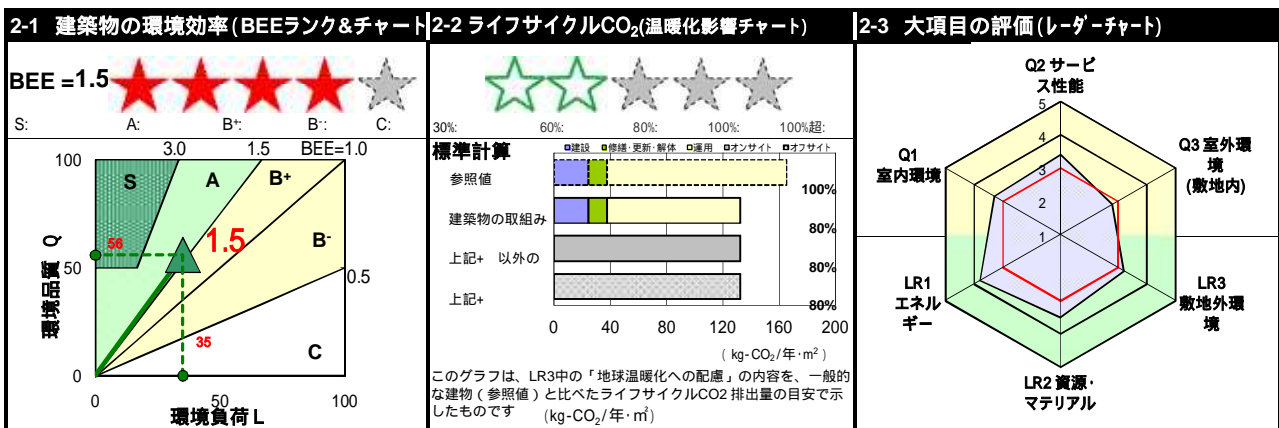


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	防衛大学校 食堂棟	階数	地上2F
建設地	神奈川県横須賀市走水1-1994-1他	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	2,200 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	5,040 時間/年
建物用途	飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年2月20日
敷地面積	8,013 m ²	作成者	南関東防衛局
建築面積	4,233 m ²	確認日	2012年2月20日
延床面積	7,826 m ²	確認者	南関東防衛局



3 設計上の配慮事項	
総合 東京湾を望む高台にある樹木に囲まれた学校敷地に建ち、風通しと採光そして眺望に配慮した。内外装の素材感に留意し、学生が集まる場の居心地に配慮した設計とした。	その他 埋蔵文化財の調査区域にも指定されており、歴史的遺産に対して保存等の配慮をしている。
Q1 室内環境 換気通風、日射調整への配慮、VOC等に関連する材料は、安全性を事前確認する。主要な出入り口には飛散防止の措置をし安全に配慮した。	Q2 サービス性能 地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討、デザインや耐久性に配慮した設計。同時に塩害や風圧に対する対策も行った。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷の抑制、自然エネルギーの活用、自然換気、自然採光の取り入れ、照明ランプはLED電球を極力採用し、省エネに対応している。	LR2 資源・マテリアル 施工現場においては、リサイクル推進に対する資料を施工者に提供し、着工前に説明を実施する。
	LR3 敷地外環境 既存の樹木は極力保存した上で、新規の植栽は雑木を中心に採用する。
	Q3 室外環境 (敷地内) 風致地区内の建物であり、周辺の建物との調和を図り、自然環境に配慮した設計とした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される